



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

此のところパリのテロ事件やトルコによるロシア軍機撃墜事件など中東が絡んだ紛争で、いわゆる地政学的リスクの高まりが直しい世界情勢ですが、金融市場はこうした事象に大きく反応せず、日米欧先進国の株式市場はおしなべて、秋口より切り下がった水準からの自律回復基調を示す11月だったと思います。

米国経済の底堅さを示す雇用統計や消費関連指標を抛り所とした年内の米国金利引き上げ開始を、市場はかなりの程度織り込んだと考えられ、実際の利上げ後は不確定要因がなくなったという前提で、金融市場はより落ち着くのではないかと想定しています。

実際のところ、世界の实体经济は先進国においてはいずれも上向きです。米国は来年に向け景気サイクルのピークに向けて安定した成長軌道を維持する一方で、日本と欧州は共に量的金融緩和と政策の途上にあつて、更なる緩和へと政策の舵を強めると見込まれ、当面の株式市場には追い風となるはずですが。

そして高値から半値未満になって久しい、原油をはじめとした資源価格の低位安定がしばらく続くであろうという世界の経済構造の前提大変化は、先進国経済の回復基調に常に足かせだった資源国への富の移転から、その逆流というカタチで、日米欧各国の経済成長を相当な規模で下支えする源泉として、徐々に顕在化して来るものと考えます。

世界全体では、資源安の長期化は、資源に依拠していた新興国にはより一層厳しい環境ですが、トータルではグローバリゼーションの成長軌道を支え、先進国経済の景気を押し上げる、「セゾン号」のポートフォリオにとっても心地良いコンディションを提供してくれるはずで、地球経済の成長軌道に乗って、穏やかに粛々と進んでおります。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

11月の市場動向

株式：【米国で年内の利上げ観測が高まったものの、金融緩和環境が長期間維持されるとの見方を背景に底堅い動き】

景気に力強さは無く、先行きへの不透明感が高まるなかで、米国で年内の利上げ観測が強まったものの、米国の利上げペースは緩やかなものになるとの見方が広がったほか、ユーロ圏で金融緩和の拡大観測が一段と高まったことから、概ね底堅い展開となりました。

債券：【年内の利上げ観測の高まりを背景に米国債が下落する一方、金融緩和の拡大期待が高まったユーロ圏の国債は上昇】

米国債は年内の利上げ観測が高まったことを受けて下落したものの、利上げペースが緩やかなものとなる見方が広がり底堅い動きとなりました。ユーロ圏の国債は金融緩和期待の高まりを受けて上昇し、日本国債も需給の逼迫観測を背景に底堅い動きとなりました。

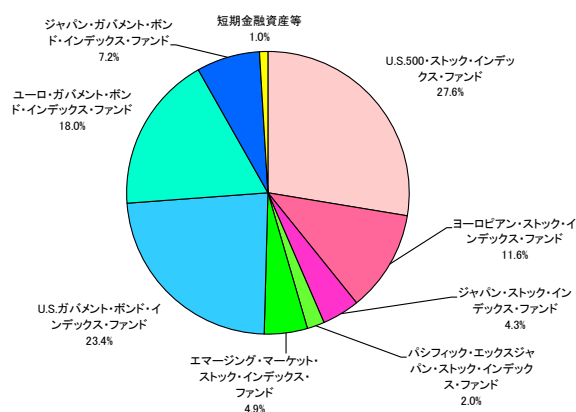
為替：【年内の利上げ観測が高まったことを受けてドルが上昇し、金融緩和観測が高まっているユーロが引き続き下落】

年内に米国で最初の利上げが行われるとの見方が強まったことを受けてドルが上昇し、ユーロは金融緩和観測の高まりを背景に下落しました。円は追加緩和への期待がやや後退したことで堅調な展開となり、対ドルでは円安、対ユーロでは円高となりました。

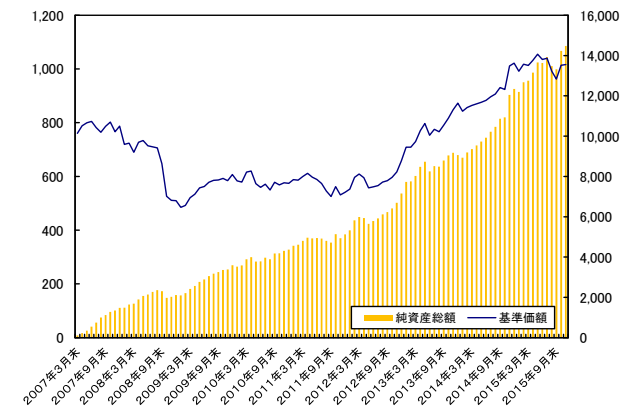
基準価額と純資産総額及び騰落率 (2015年11月30日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
13,556円	1085.7億円	+35.56%	+0.30%	-3.64%	+0.51%

資産配分状況 (2015年11月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



11月の運用状況

今月の投資スタンス

当ファンドは、定期積立プランでの購入などにより、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って比率が低下している債券ファンドへの投資を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、米国債や新興国株に投資するファンドが下落したものの、欧州株や日本株に投資するファンドが上昇し、小幅ながら基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ユーロで円高となったものの、対ドルで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 11月度の投資先ファンド価格の変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

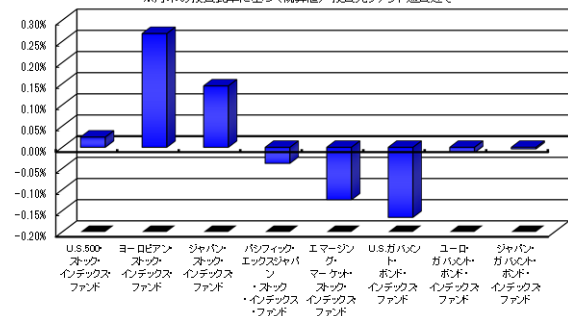
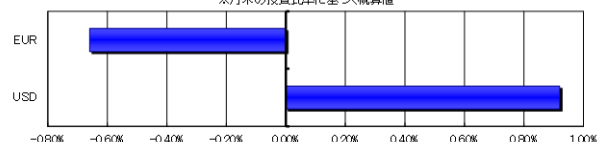


図2 11月度の為替変動による影響
※月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5076%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.69%±0.03%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668（受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）